

編集後記

■今年もまた、杉花粉の飛散する季節となりました。花粉症の人にとっては憂鬱な季節です。私も二十数年間、杉や檜の花粉症に悩まされてきました。以前、周囲に杉林の多いトンネル現場に勤務していた時、花粉が飛散する時期に車を運転中、クシャミの連発に襲われ、山中の細い坂道の急カーブだったこともあり、ハンドルを切損ねて側溝に前輪を脱輪させ、買ったばかりの愛車を破損させた苦い経験があります。

最近はいろいろな抗アレルギー剤があり、以前に比べて症状をかなり緩和することが可能になったとはいえ、クシャミ、鼻づまり、目の痒み、頭痛やそれによる不眠等、花粉症経験者でないといこの苦しみは実感できません。

花粉症が、イライラや集中力欠如を誘発し、ヒューマンエラーの要因となり、現場での事故のリスクを高めているのではないかと、最近感じています。

近年、いくつかの自治体においては、花粉症を社会問題として捉え、対策を講じているところもあります。現場の安全対策上からも花粉対策へのさらなる強い取組みが必要かもしれません。

本誌が皆様のお手元に届く頃には憂鬱な季節も過ぎ、爽やかな新緑の季節を迎えていることでしょう。

(中山)

■職場で安全標語の募集があると、私は「事故は必ず起こる。でも事故の起こる確率を下げるために、みんなで安全に取り組んでいこう」との趣旨で標語を作る。継続的な作業者の意識の高揚や設備の改善・開発が事故を減らすことができると考えると、今回の特集の意義は大きい。

作業船の運転席から目の届かない場所での設備のトラブルは、船長などの責任者が残って操作レバーを見守る。私の担当した現場では、船長まで運転席を離れて作業を行い、その間に設備が動き出した。大事には至らなかったが、肝を冷やした。

潜水士搭乗型水中バックホウの開発を担当していた頃、透明度の悪い海域では運転する潜水士から周囲が見えにくいことがある。それを認識してゆっくり動かしたが、共同作業をしていた潜水士の目の前に突然、バケットが現れて肝を冷やした。

人は経験しなくては身に付かないことも多いが、施工現場の安全に関しては、少ない失敗の経験を業務に生かして、事故を未然に防ぐことを願っている。

(銅冶)

機関誌編集委員会

編集顧問

浅井新一郎	石川 正夫
今岡 亮司	上東 公民
岡崎 治義	加納研之助
桑垣 悦夫	後藤 勇
佐野 正道	新開 節治
関 克己	高田 邦彦
田中 康之	田中 康順
塚原 重美	寺島 旭
中岡 智信	中島 英輔
橋元 和男	本田 宜史
渡邊 和夫	

編集委員長

村松 敏光

編集委員

清水 純	国土交通省
浜口 信彦	国土交通省
照井 敏弘	農林水産省
夏原 博隆	鉄道・運輸機構
岩本 弘之	中日本高速道路
新野 孝紀	首都高速道路
坂本 光重	本州四国連絡高速道路
平子 啓二	水資源機構
吉村 豊	電源開発
松本 敏雄	鹿島
和田 一知	川崎重工業
岩本雄二郎	熊谷組
嶋津日出光	コベルコ建機
金津 守	コマツ
山崎 忍	清水建設
村上 誠	新キヤタピラー三菱
星野 春夫	竹中工務店
銅冶 祐司	東亜建設工業
中山 努	西松建設
森本 秀敏	日本国土開発
斉藤 徹	NIPPO
吉越 一郎	ハザマ
三柳 直毅	日立建機
岡本 直樹	山崎建設
小野 秀一	施工技術総合研究所

6月号「リサイクル/CONET 2006 特集」予告

- ・建設リサイクルに関する最近の動向
- ・首都圏建設副産物小口巡回協同回収システム
- ・千葉県における建設発生木材リサイクル促進行動計画
- ・山武町のバイオマスタウン構想
- ・高流動エコセメントの導入
- ・建設機械のカウンタウエイトのリサイクルの現状
- ・廃棄物焼却施設の解体処理技術
- ・CONET 2006

No.675 「建設の施工企画」 2006年5月号

(定価) 1部 840円 (本体 800円)
年間購読料 9,000円

平成18年5月20日印刷

平成18年5月25日発行 (毎月1回25日発行)

編集兼発行人 小野 和日児

印刷所 株式会社技報堂

発行所 社団法人日本建設機械化協会

〒105-0011 東京都港区芝公園3丁目5番8号 機械振興会館内

電話 (03) 3433-1501; Fax. (03) 3432-0289; <http://www.jcmanet.or.jp/>

施工技術総合研究所	〒417-0801 静岡県富士市大淵 3154	電話 (0545) 35-0212
北海道支部	〒060-0003 札幌市中央区北三条西 2-8	電話 (011) 231-4428
東北支部	〒980-0802 仙台市青葉区二丁目 16-1	電話 (022) 222-3915
東陸支部	〒950-0965 新潟市新光町 6-1	電話 (025) 280-0128
中部支部	〒460-0008 名古屋市中区栄 4-3-26	電話 (052) 241-2394
関西支部	〒540-0012 大阪府中央区谷町 2-7-4	電話 (06) 6941-8845
中国支部	〒730-0013 広島市中区八丁堀 12-22	電話 (082) 221-6841
四国支部	〒760-0066 高松市福岡町 3-11-22	電話 (087) 821-8074
九州支部	〒810-0041 福岡市中央区大名 1-8-20	電話 (092) 741-9380